

パブリックコメントの回答について

「多治見市役所の位置を定める条例の一部を改正するについて」のパブリック・コメント手続については、令和4(2022)年3月28日から同年4月27日まで募集し、37人から106件の意見が提出されました。いただいたご意見と市の考え方は以下のとおりです。

いただいたご意見の要旨	
(1) 建替えについて(15件)	
ア	耐震について、新聞の記事を読んでも緊急を要するほどとは思えない。水害も検討しなければならない。
イ	老朽化について、開始からわかっていることである。現本庁舎は耐震性能が低いとのことだが、平成27年の工事は何だったのか。狭あいについて、ペーパーレス化、現本庁舎の建物で屋上増築によるスペース確保の検討をされたのか。
ウ	現本庁舎は国の耐震基準を満たしているので、建替えを急ぐ必要はない。
エ	駅北より日ノ出町の方が地盤セーフティスコアが高く、浸水リスクも少ない。まだ修理すれば33年使える本庁舎を壊し、駅北に52億円も使って建て替える必要があるのか。耐震のIs値0.63の数値であっても、まあ大丈夫な数値である。Is値0.9の強固さを確保するために建て替える必要があるか。
オ	昭和の時代に表彰を受けた建物を取り壊すのは不適切。物価の高騰等により高齢者の年金暮らしは生活に困っている。建替えに使うお金があるなら、高齢者に優しい多治見市にして欲しい。6月議会での採決は絶対反対。
カ	費用52億円税金の無駄遣いだと思う。現庁舎が使える今、新たな場所への建設は反対。
キ	多治見市の人口は減少傾向であること、庁舎に行かなくても行政事務手続はインターネットで出来る時代になってきており、また地区事務所で大体の用事を済ませることができるので、庁舎等の箱物は造る時代ではない。
	市の考え方
アーキ	現本庁舎は、築48年を経過しており、社会・経済の変化に伴い、今後、長期にわたり市役所に求められる機能を果たしていくことは困難です。耐震補強については、当面の安全確保策として最低限の措置を行ったものです。一般の建物に必要とされる水準に留まり、災害時に拠点となる建物に必要な水準を満たしていません。また、建物の倒壊は免れても、空調設備や給排水設備といった設備が劣化しているため、業務の継続が不可能となるおそれがあります。このため、10年を目途に建替えを行うこととし検討を進めてきました。
ク	老朽化と言われますが、なぜ歴代市長は本庁舎の修繕をその時々に行わなかったのか。ほかの施設は、エアコンなども定期的な改修工事をされているが。名古屋市役所より新しいと思うが、なぜ名古屋市役所は古くても使えるのですか。
ケ	川南から駅北庁舎へ行くには、大踏切を渡るか、国道248号線の混雑の中を行くのか考えると嫌になる。本庁舎に手を加えることで済むならそれがよい。だめなら他の場所をもう一度考えるべきだと思う。
コ	新本庁舎の建設(増築)は建設資金が出来てからでよいのではないかと(建設準備金が6億円貯まったと承知している)建設資金が積みあがるのが15～20年と考えて、その間、現本庁舎を維持できるように改築を行えばよい。
サ	駅北庁舎に隣接して新本庁舎を増設する形では、一棟だけ建てるよりトータルコストが高くなるので、新本庁舎は建設しないで、現在ある公共施設(産業文化センター、図書館、文化会館等)を活用してそこで行政事務をできないか検討して欲しい。
シ	現本庁舎に必要最小限の改築工事を行い、ランニングコストの削減をして利用していくことを提案したい。
ス	本庁舎を駅北に移転することに反対します。経済的に厳しい時代だから、本庁舎の耐震性等の強化やメンテナンスを行って、移転しないでください。
	市の考え方
クース	平成23年に庁舎建替えの方針を決定した後、経費を抑えるため、最低限の修繕、補修に留めてきました。大規模修繕を行うと多額の費用が必要となりますが、耐震性は向上せず、社会・経済の変化にも対応できないままとなります。また、既存の施設(産業文化センターなど)は、設置目的に沿った利用がされていることなど庁舎への転用は困難です。なお、名古屋市役所は国の重要文化財に指定されており、簡単に比較はできません。
セ	7年前に新築した駅北庁舎があるのに増築するような形で新本庁舎の建設計画が進められることに納得できない。もっと駅北庁舎を高度利用(7、8階建て)すべきであった。駅北庁舎の建設計画が甘かったのではないかと。
ソ	駅北庁舎がすでにあるのに、さらに税金を投入して新しい庁舎を建設するのは、税金の無駄遣いである。

セ ー ソ	市の考え方
	平成23年に、当時の本庁舎、笠原庁舎、保健センターの状況などを踏まえ、 ①本庁舎は当分の間使用し、その後建替える ②笠原庁舎は閉鎖する ③分庁舎を新たに建設し、庁舎機能の一部を移転する としたところです。 駅北庁舎建設時に、庁舎機能の全てを移転することは、財政的にも困難でした。
(2) 防災対応について(5件)	
ア	本庁舎は防災の拠点。昨今は地震より水害が多い。駅北は水害に弱い地区のため、外すべきではないか。
イ	駅北は液状化するリスクと浸水するリスクが高く、災害から市民を守る拠点として適当でない。
ウ	災害非常事態時に市民の保護、行政業務の遂行が困難。浸水被害予想地域であり安全なエリアではない。有事や災害時に駅に人や車が集中する交通障害が発生する可能性が高い。
ア ー ウ	市の考え方
	地震による液状化現象等や水害に対する安全性については、地震防災マップ及び浸水ハザードマップによると、駅北庁舎隣接地と現本庁舎周辺との間に有意な差はありません。建設にあたっては、必要な調査を行い、安全性を確保する措置をとっていきます。
エ	浸水可能性が高い地域、夜の地域の防犯が心配、ロシアの例をみるように侵攻などの不測の事態には、駅隣接に市機能を集中させることはリスクが高い。
オ	有事の際に多治見駅が攻撃対象になると思われ、破壊されたら市民の保護も行政業務の遂行も無理。
エ ー オ	市の考え方
	武力攻撃事態等は、極めて稀なケースであり、これを理由に日々の利便性を犠牲にすることは適当ではないと考えています。 なお、多治見市では、武力攻撃事態等に対しては、国民保護計画を作成し、取り組んでいます。
(3) 分庁舎体制によるリスク分散(5件)	
ア	駅北庁舎が出来てからは、若干近くなり利便性向上。多治見市の中心に二つも立地する必要性がわからない。高齢化により移動に労力を費やすため、庁舎は二分されていた方が公平性利便性ともに上がると考える。 一棟で足りるよう、会議室などの使用効率を考えるなど努力により税金の有効活用をのぞむ。
イ	庁舎の位置が分かれたままの方が、有事の際にリスクを分散できるのではないかと。条例の改正に反対する。
ウ	新本庁舎と駅北庁舎について、一体のものとして運用すると言いながら、なぜ二つに分けたのか。多少遅れても同じ建物として建設した方が効率的であり、空いた土地を駐車場などで有効活用が可能と思われる。 一方、折角二つに分けたのならば、災害時のリスク分散の意味でも、離れた場所に建設するのが当たり前ではないか。
エ	市役所へ行くのにJRを使う市民はいない。土地の安い郊外で広い駐車場を確保できるところが災害時の危険分散を考えても最善である。市全体のことも考えてほしい。
オ	なぜ今ある庁舎を変えなければならないか。一極集中ではなく今あるものを活用してほしい。半分は市役所、あとは商業用(コンビニ、コインランドリー、地元の商店を入れる)にして、異常事態が起きた時にどちらでもすぐに活動できる市役所としての機能維持をしておいて欲しい。
ア ー オ	市の考え方
	市内で複数箇所に分散させることによるリスクの低減は期待できないと考えています。 また、2箇所の庁舎で相互に機能が代替できるようにするためには、面積を確保することも必要ですが、さらに資機材の確保など、ダブルコストが発生します。
(4) 駐車場(6件)	
ア	駅周辺に庁舎を建設する場合、駐車場が不足するのではないかと。

イ	現在、駅北庁舎の利用時に駐車場が不足しており、駐車するまでの待ち時間が長い。
ウ	駅北に新庁舎建てるというのに来客用・職員用の駐車場ひとつ周りにない。
エ	駅北に移転した場合は公共交通機関を利用でき、駅北庁舎と一体化できるメリットはあるが、駐車場が非常に少ない、駐車場費用が高い。
オ	駅北庁舎は、現状でも駐車場が少なすぎる。いつも並んでいて、入るのに時間がかかる。コンビニに停めていく人もいる。駅から近くて便利という声を聞いたことがない。通勤通学で電車を使っている人のほとんどが市役所の開庁時間に行ける人はいない。現本庁舎の方が駐車場があるからそちらに行く。駐車場の重要性を分かっていない。日ノ出町の市役所を建て替えたほうがまだ市民が納得する。
カ	駅北に駐車場用地を継続確保する事や施設の維持管理費に現在の場所よりコストがかかる。 多治見市の全域からアクセスするのには自家用車が一番便利だが、多治見駅前だと駐車場から建屋へのアクセスが悪い、駐車場が狭い。
アー カ	市の考え方
	駅北庁舎隣接地に移転する場合については、新規に駐車場を整備する案のほか、市有地を活用する、駅北立体駐車場の一部転用など、費用対効果や利便性を考え、様々な方法を検討していきます。
(5) 交通渋滞(6件)	
ア	庁舎が駅北に集中することにより、交通量が増える問題にはどのように対応していくのか。
イ	駅北庁舎から音羽町4の交差点へ行く道路は、駅北庁舎地下駐車場へ入る待機車が多く進みが悪いため迷惑している。本庁舎が駅北庁舎隣接地へ移転すればさらに渋滞がひどくなる。道路を整備してから移転してほしい。
ウ	交通問題が未解決(上野町JRの件)で計画通りに行く可能性は少ないと思う。
エ	駅南地区から駅北の庁舎へ行く道路が渋滞している。
オ	駅南地区から中央線をまたぐ道路がない。
カ	市役所の位置を決めるのは、南北の渋滞しない道路が出来てから決めるべきだ。
アー カ	市の考え方
	駅北庁舎周辺では、JR中央線と交差する国道248号線のアンダーパス付近を除き、慢性的に渋滞する状態ではなく、本庁舎の移転による大きな影響はないと考えています。 なお、JR多治見駅周辺における交通事情については、課題として認識しており、市整備路線としては、音羽小田線の整備を最優先に進めているところです。 また、国道248号線の渋滞との関連では、(仮称)平和太平線の実現に向け、県に対し、働き掛けを行っているところです。
(6) コストについて(4件)	
ア	新本庁舎建設の際に、国からの補助金はない。本庁舎のIs値は平成27年の耐震化前が0.31で耐震後で0.63。
イ	コロナ、ウクライナ問題等物価の高騰で予算通りにはいかない。
ウ	物価が上がっているが、本当に52億円で建設できるのか。
エ	国からの財源確保は出来ましたか。市民の負担を少なくするため、財源を確保してからお願いします。当分は、災害時の対策本部は駅北庁舎にすればよいことではないか。
市の考え方	

アイエ	庁舎建設費については、主に基金及び市債で賄う予定です。基金については、平成25年に設置し、令和3年度末の残高で約21億円となっています。 また、建設費用等については、コスト削減に努めていきます。 なお、庁舎の建替えについては、平成29年から令和2年まで、国の財政支援制度（市町村役場機能緊急保全事業）がありました。僅か4年で終了したため、全国の自治体と連携して、制度の復活を国に対し働き掛けています。
(7) 建替え場所(20件)	
ア	駅周辺の開発のみで、市全体を活性化できるか疑問。将来のまちづくりを考えて、北庁舎隣接地を選んだ理由に疑問がある。
イ	駅周辺の一等地に市役所があることについて疑問がある。既にある北庁舎については活用するのが現実的であるとする。 全国で見ても、駅周辺の一等地にあるのは東京駅周辺の国の機関ではないか。これを機会に、再度多治見市のまちづくり案の見直しを期待する。
ウ	老朽化した本庁舎の建替えには賛成。駅北庁舎隣接地への移転は、庁舎駐車場出入口の車の滞留、交通渋滞による経済損失等の理由から反対。 現本庁舎敷地に、人口減少を見越して最小限の庁舎を建替えることを提案する。防災対策として2庁舎体制がよい。北庁舎の利用方法を見直し余ったフロアを外部に貸し出す、2庁舎間で20分間隔のシャトルバスを運行する。
エ	音羽町に在住しているが、駅北庁舎隣接地に移転することはやめてほしい。
オ	多治見市で最も地価の高い場所に市役所を造るなんて考えられない。
カ	駅北の移転候補地は、税収が見込めて、多治見市の発展に繋がるように活用して欲しい。本庁舎は駅周辺でなくてもよいと思う。
キ	駅周辺は地価が高く、庁舎移転にかかる事業費が多くなると思うので、そこへ自分たちの税金を使うのは嫌だ。
ク	駅北庁舎を建てたが駅北地区は何も発展していない。有料駐車場と公園などの箱物施設があるだけである。逆に駅北庁舎を利用する市民が渋滞で迷惑している。駅北に庁舎建設する必要はなく、絶対反対である。
ケ	駅北庁舎も駅北の一等地に造るべきではなかった。緊急時に渋滞の心配がない別の場所に建設した方がよかったと思う。
コ	土地の価格が高い場所にわざわざ移転する必要はない。
サ	駅北に移転した場合は公共交通機関を利用でき、駅北庁舎と一体化できるメリットはあるが、浸水可能性が高い地域、地価の高い地域に庁舎を造っては税金が入らない。
シ	本庁舎の駅北移転に反対します。
ス	本庁舎の駅北移転には反対します。 駅だけに集中する都市計画では人口減少を止められない。投資がされない場所からスポンジ化する。駅があり、土岐川という公共空間があり、川南に市役所があり、人の流れが生まれるという理想的な姿を生かさなければ中心市街地がすたり、活気のある美しいたじみのまちは消えてしまう。 道路網の整備がされないまま進む駅周辺のまちづくりは問題。駅周辺に商業・業務の民間事業者ではなく駐車場もないお役所を集積するのは問題。川南地区の地区計画が作成されるまでは条例提出は拙速である。
セ	駅北に建て替えるのに反対します。駅前より現在の場所での建替えに利ありと考える。 駅北に駐車場用地を継続確保する事や施設の維持管理費に現在の場所よりコストがかかる。 多治見市の全域からアクセスするのには自家用車が一番便利だが、多治見駅前だと駐車場から建屋へのアクセスが悪い、駐車場が狭い。
ソ	駅北庁舎は分庁舎、市のサテライトとしての機能を持たせる。日ノ出町庁舎は本庁舎として存続する、ことを提案する。
タ	これまで、郵便局、警察署、法務局、県税事務所などが川南地区から移転された跡地は駐車場や本庁舎となり、まちづくりは進まなかった。本庁舎が移転すれば、まち破壊に繋がり、川南地区のまちづくりは無視されてしまうのが心配である。本庁舎は川南地区のまちづくり維持の最後の砦である。現在、何も問題のない本庁舎を問題の多い駅北へ移転することは常識的にも考えられない愚策である。
チ	多治見市のために税金を納めて、何十年も川南地区に住んでいる市民として、本庁舎の日ノ出町から駅北への移転は絶対反対。
ツ	現本庁舎の日ノ出町から駅北への本庁舎移転反対。
テ	駅北に庁舎機能が集中すると駅南に住んでいる市民は市役所が利用しにくくなる。
ト	駅南の住民として日ノ出町の本庁舎移転は絶対反対！

ア ー ト	市の考え方
	まちの顔となる中心市街地の活性化により、多治見市全体の魅力の向上を図ることが必要です。多治見駅周辺と現本庁舎周辺との一体的な機能分担と有機的連携によるまちづくりを進め、歩けるまちづくり、人の動きによるにぎわいづくりが必要であると考えています。多治見駅周辺については都市機能の集積により、現本庁舎周辺については歴史や伝統を活かしたまちづくりを進め、中心市街地の魅力を市内・市外に発信していくことが必要と捉えています。
(8) 川南地区の活性化(6件)	
ア	現本庁舎の跡地については、養正、昭和地区と話して決めると地区懇談会で市長が言われていましたが、どのように決めるかルールが定められていない。ルールを定めてください。
イ	駅北庁舎隣接地へ本庁舎を移転することはやむなし。しかし、現本庁舎を「歴史民俗資料館」とするべし。「虎溪山森の家」を残すべし。
ウ	本庁舎移転の計画を進める前に、まず現本庁舎の跡地利用計画を発表して川南市民に納得してもらうのが筋である。
エ	現本庁舎跡地の活用計画等の発表もなく不安である。納得できる移転後の地区計画が聞きたい。
オ	本庁舎を駅北へ移転することに反対。川南地域の衰退は哀しいばかりである。市全体の市民の意見を再度よく聞いてもらいたい。
カ	本庁舎が北庁舎と合同することについて反対です。駅北地域に税務署、法務局、警察署、社会保険事務所などの官公署があります。現本庁舎の引っ越しだけ先行では、川南地区が寂れてしまうので、時間を掛けて十分な討議が必要に思う。
ア ー カ	市の考え方
	川南地区の活性化は、中心市街地の課題として認識しており、地域の皆様のご意見を聴きながら進めていきます。
(9) 優先度について(9件)	
ア	困っている人が多くいると思うのでそちらに注力してほしい。
イ	社会全体が落ち着いてからじっくり進めてもらいたい。多くの市民は庁舎の建替えは急いでいるとは思えない。防災拠点は北庁舎を手直しすればよいのではないかな。
ウ	なぜ、この世界的な世相不安定な時期に市議会に上程するのか。
エ	コロナにより、市民の生活がまともにできない現在の状況での移転に反対。6月議会への提出は不適切である。
オ	コロナの影響で市民の暮らしが混沌としている中、庁舎の建替えは優先的にやることではない。市が市民にやれることを優先すべき。市民の目線で考えていない。多治見市役所は何のためにあるのか、もっと市民に目を向けてほしい。
カ	川北ばかり発展し、川南は店もなくなり高齢者ばかりの町となっている。なぜ駐車場もないところに新しい市役所を建てるのか。体の不自由な人がどうやって用事をするのできるのか。多治見市はそんなお金があるのであればもっとやらなければならないことが他にもあると思う。大反対である。
キ	新型コロナウイルス感染症流行中は本庁舎の建替えより、年金受給の高齢者に優しいまちづくりを優先して欲しい。建替えはコロナの流行が落ち着き、景気が回復してからでも遅くない。
ク	新本庁舎の建替えより、行政として優先順位の高い施策があると思う。
ケ	現時点での本庁舎移転及び場所の決定は絶対反対。コロナ禍において、6月議会への議案再提出決定はやめてもらいたい。コロナ禍で市民は苦しんでいる。
市の考え方	

ア イ ウ エ オ カ キ ク	現本庁舎は、築48年を経過し、今後、長期にわたり市役所に求められる機能を果たしていくことは困難です。また、現本庁舎の耐震性能の低さ、設備の老朽化のみならず、防災対応の拠点としての役割を担うという観点から、優先順位が高いと判断しています。
(10) 議論の不十分(8件)	
ア	議会で市民の意見を聞くために廃案になったとのことだが、結局、聞いたふりだけで同じ提案をする厚かましさには呆れる。
イ	地区懇談会は時間が短く十分な意見も言えません。市の目指す方向へ進めている気がします。
ウ	川南プロジェクトや跡地利用の話があるが、一部の人がしていることであり、多数の住民は蚊帳の外である。
エ	コロナ禍のため、地区懇談会の出席を辞退された方もおり、時間も短く、養正地区で参加したのは約30名だと思います。各町内会長も含め、丁寧な住民説明会をお願いします。
オ	6月議会に本庁舎の位置を定める条例案を議会に無理やり提出するなら、今年度の地区懇談会の時間を昨年より延長して、町内会長全員に参加してもらい説明をして欲しい。コロナの流行で丁寧な説明ができないなら、議会への提案は時間をかけて進めていくべきである。
カ	新型コロナウイルス感染症の流行で、去年の地区懇談会は町内会長及び地元住民を多数集めて行政側の丁寧な住民説明会が行われていないので本庁舎の移転は反対である。
キ	駅北への移転に対して、様々な意見が出ている中で、市民にメリットデメリットが伝わっていないように思う。市民に納得できる手法として、問題から対策案を選定したプロセス、層別結果といったエビデンスを明確に提示してください。
ク	意見集約のため対話集会等を開催していると思うが、まだまだ住民の理解は進んでいないように思う。行き当たりばったりになりかねないので、はと危惧している。明るい将来像を見せてもらえることを期待する。
ア イ ウ エ オ カ キ ク	市の考え方
	パブリック・コメントや各種団体への説明、市民向け説明会の開催、広報紙への特集掲載のほか、地区懇談会においては市長が直接説明し、意見交換をさせていただきました。令和4年度の地区懇談会でも説明をさせていただきます。
(11) 住民投票等の実施(7件)	
ア	説明会やパブリックコメントで市民の意見を聞いたことにしようだが、ただ聞くだけで全く方向性に反映する気がないのであれば、時間と税金の無駄であり、将来にわたって行政への不信感を残すことになる。都合の悪い意見を見逃すような姑息なことはやめて、住民投票など本当の意味で全市民の意見に耳を傾けるべきではないか。
イ	住民投票の代わりに来年の市長選挙で信を問うといいのではないか。
ウ	地元市議からの市政報告がないので、住民投票で決めてください。嫌なら次期市長選挙で当選してから行ってください。市議会議員は20名いるが、何名の方がコロナ禍で市政報告を行い市民に説明したか教えてください。市民の代表が市民に説明していない中で、議会で採決するのは理解できない。調べればわかることです。データがないとの回答不可。
エ	市長の政治判断として新本庁舎の建替えを推進するというなら、次回の市長選挙の争点とするべきである。
オ	新本庁舎の建替えを進めるかどうかは住民投票で決めて欲しい。それが出来ないなら市民の意見を尊重するため、次の市長選の争点にして欲しい。
カ	本庁舎の移転及び場所の決定は住民投票か次期市長選挙の争点にして市民の意見を聞いて欲しい。
キ	建替え問題は、市長選で市民に信を問うべき問題である。
ア イ ウ エ オ カ キ ク	市の考え方
	市民の皆様からの意見募集(パブリック・コメント)や各種団体への説明、市民向け説明会のほか、地区懇談会などでご意見を頂いてきました。また、各種団体の代表者や公募市民で構成する新庁舎検討市民委員会を設置し、議論をいただいています。市議会では、本庁舎建設に関する特別委員会が設置され、小委員会を含め活発な議論がされています。

(12) その他(15件)	
ア	本庁舎建設予定地に、駅北庁舎を壊しマンションをつくり、売ったお金で違う場所に水害、地震に強い市役所をつくってはどうか。
イ	虎渓用水広場の計画には、庁舎の建設予定地も入っていたのではないか。庁舎を建設するのではなく、虎渓用水広場を広げてはどうか。
ウ	駅北庁舎は、平成23年に策定された「市庁舎将来構想」に基づいて先行実施されたものと思われるが、本庁舎の移転等についても、時期や場所を含めてその方向性は決められているべきであり、今頃になって大騒ぎするのは無責任かつ税金の無駄遣いである。何のための構想なのか。
エ	駅北庁舎隣接地に移転して喜ぶのは職員だけだろう。自分達のためだけに税金を使うなら給料を半分にしてほしい。
オ	コロナにより市民の収入も減っているのに、市役所職員の給与20%カットして移転とか条件を提示してください。
カ	一般市民が知らない(教えられていない)JR東海からのリニア資材置き場に50億円の入金を当てにしておられるのであろうと思うが、これも大切な市民のために使ってほしい。
ア ー カ	市の考え方
	建替え場所については、中心市街地における機能の集約や活性化により、まち全体の魅力が向上するものと考え、選定しています。具体的には、「利便性」、「防災拠点」、「経済性」の評価項目により検討し、総合的に判断しました。 コロナ禍における支援については、直接にニーズを把握しながら取り組んでいるところです。 JR東海の負担金については、資材置き場の整備費用の財源であり、また、金額については、ご意見は誤りで、過大に過ぎます。
キ	多治見市役所新庁舎検討市民委員会、中間報告には「現段階では新庁舎建設の予定地が定まっていない」とある。同委員会の当初の目的の一つとして「場所の選定」が挙げられているにもかかわらず、まだ場所の選定について結論を出していない。同委員会が結論を出していないにもかかわらず、市は本庁舎建替え場所を「駅北」と結論付け、議案を出そうとしている。 同委員会での検討に基づかず、「駅北」に建替えると結論付けたと見受けられるが、市はどのような過程を経て「駅北」と結論付けたのか。なぜ同委員会での結論を待たないのか。
ク	18歳で成人化が始まっている。なぜ、高校生、短大生、大学生、外国人の方々参加の、諸デジタル化を見据えたプロジェクトをつくらないのか。
ケ	総務課発行資料によるとすでに駅北庁舎に併設本庁舎として既に決まっているかのように誘導している、かの様に伺える。
コ	市当局の利便性ばかりを優先しているような印象を受ける。多治見市民のことを優先して考えて欲しい。
サ	行政当局としての利便性ばかりでなく、市民の事を考えて移転を考えて欲しい。
シ	市民の負担が少ないか若しくは、少々負担が嵩んでも格段に行政サービスがよくなるのであれば、本庁舎の移転建替えに賛成するが、現在は職員の窓口サービスは一生懸命やっていると感じるが、それ以外の対応はいささか不愉快になる場合がある。庁舎の建替えよりも職員教育をまずは優先すべき。
ス	コロナ、ウクライナ戦争などの社会状況、大雨時の洪水を考えても、現時点での本庁舎の移転はあり得ない。
セ	市役所を中心に経済が活性化し、多治見が発展するものではない。
ソ	16街区がどこで、現在の本庁舎の機能をどの程度もたせるように考えているのか知りたい。 高齢化に伴い、高齢福祉の窓口が広く分散されることを望みます。(いろいろな移動手段を使わなくても窓口を訪れることができればありがたい)
キ ー ソ	市の考え方
	広報紙による周知や、各種団体への説明、市民向け説明会、パブリックコメント手続を経て、令和2年3月に市議会に条例改正を提案しましたが、2度の継続審査を経て、同年9月に審議未了廃案となりました。この際、市議会から「市民の声が拾えていない」と評価されたことを受け、講演会の開催、広報紙でのコラム・特集の掲載、地区懇談会、パブリックコメント手続などにより、市民からのご意見をいただきながら進めてきました。また、市議会においても、特別委員会に小委員会が設置され、活発にご議論をいただいています。